平成30年度　大田区立池雪小学校　自己評価　報告書

平成31年3月11日

○　本校の概要

○学校規模・・・・・・・・・・・児童数：1，025名・学級数：29学級・教職員数（58名）：校長1、副校長2、教員38、講師6、事務1、栄養士1、主事4、カウンセラー2、都区非常勤3
○本校の教育目標・・・・・よく考える子ども　思いやりのある子ども　がんばる子ども　じょうぶな子ども
○本年度の主な取組・・・校内研究：教科（国語科）　研究主題「話し合う力を高め、考えを広げる児童の育成」
○特色ある教育活動・・・国際交流（東京工業大学留学生・東京朝鮮第六初級学校）　池雪いきいき応援隊（学校支援地域本部）と連携した教育活動　校内研究と授業観察を関連づけた授業改善

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 国語を通して校内研究を推進し、思考力・判断力・表現力等の向上を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成する。	児童の自己評価において、「学校の授業は、よくわかりますか。」の項目で、A（とても思う）B（思う）と回答した児童の割合	4：90%以上 3：85%以上 2：80%以上 1：80%未満	4	95%の肯定的な回答がありました。教員の授業力を高めるために、継続した校内研究を始め、日々、研修と教員相互の授業参観を重ねています。算数においては、1，2年生は担任と講師と複数で、3年生以上は習熟度別少人数指導と、個々の学力に合わせた指導を行っています。今後も児童に確かな学力が身につくように努めていきます。 3年生以上は放課後・土曜補習教室、全学年として夏休み補習教室を実施しています。今後も補習教室を行い、基礎基本の定着に力を入れていきます。	○授業態度の良さから見ても評価できる。 ○先生方の努力だと思う。 ○指導を受けている児童が、授業はよく分かると回答していることが何よりだと思う。 ○子供たち、保護者双方のアンケートでも肯定的な回答を得ている。先生方の実践を裏付けるものだと思う。 ○習熟度別少人数指導、補修教室は、基礎固めに功を奏していると感じる。区などの学力調査の結果を伺い、こうした地道な取り組みが大切であるといつも感じている。 ○一人一人の学力に講じた指導や放課後・土曜補習教室等、夏休みまでものご指導に頭が下がります。今、母親が働く時代となっておりますので、このシステムは本当に感謝しておられると思う。
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査（メンタルヘルスチェック）の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 年間努力目標（明るいあいさつ、清掃・後片付け）について継続的に指導する。	児童の自己評価において、「学校生活は、楽しいですか。」の項目で、A（とても思う）B（思う）と回答した児童の割合	4：90%以上 3：85%以上 2：80%以上 1：80%未満	4	97%の肯定的な回答がありました。学期1回のいじめ調査やメンタルヘルスチェック、5年生の全員面接の結果をもとに、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように指導をしています。 一人一人を大切にし、すべての子どもが楽しい学校生活を送ることのできる魅力ある学校を目指していきます。	○子供たちへの取り組みの説明がよくされている。評価できる。 ○学校生活が楽しいことが何よりだと思う。 ○子供たちが生き生きと登校している姿を見ていると、学校生活を楽しんでいるように感じる。 ○子供たちが楽しいと思って過ごせる学校生活をこれからも継続していってほしい。 ○平常の授業を通じた取り組みの成果が児童の自己評価につながっていると思う。今後、メンタルヘルスチェックや全員面接の成果が表れてくることが期待できる。
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。 「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 運動集会や長縄週間、小学生駅伝大会、体力テスト結果、オリンピック・パラリンピック教育などを活用し、児童の体力向上に努めている。	保護者の学校評価において、「学校は、体育や保健指導等の実施を通して、お子さんの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいると思いますか。」の項目で、A（とても思う）B（思う）と回答した保護者の割合	4：90%以上 3：85%以上 2：80%以上 1：80%未満	3	87%の方に肯定的な評価をいただきました。長縄週間の設定や短縄カード、マラソンカードを用いて、体力向上に向けて取り組んでいます。 また、学校だより、保健だより等で本校の児童の体力や健康についてお知らせし、家庭の協力をお願いしています。今年度は、早寝早起き朝ご飯の取り組みとして、各家庭のおすすめの朝食を紹介しました。	○部活や地域の行事の参加も多い。 ○見守り活動をしていく中で、外で遊んでいる子供たちに会うことが少なく感じています。放課後子供たちはどう過ごしているのでしょうか。 ○児童数が多い学校なのに、休み時間、縄跳びや一輪車で元気に飛び回っている姿を見ると、健康促進に取り組んでいることが分かる。体力向上は学校だけでなく家庭が考えることと感じる。 ○運動が苦手なお子さんもいると思うが、その中でも87%の肯定的な評価が維持できているのは素晴らしいと思う。 ○人数に対して決して広いとはいえない校庭など、限られた環境の中で工夫されていることを感じる。保護者からは見えにくいところではあるが、よろしくお願いします。おすすめの朝食も今後も期待している。 ○長い人生の中でやはり一番は健康→体力作り→心健やかに、と思う。
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 支援員やスクールカウンセラーなどと情報を共有し、連携して児童を支援する。	保護者の学校公開アンケートにおいて、「ICT機器の導入により、子どもたちの学習意欲は高まった。」の項目で、A（とても思う）B（思う）と回答した保護者の割合	4：90%以上 3：85%以上 2：80%以上 1：80%未満	4	96%の方に肯定的な評価をいただきました。ICT機器が全教室に配置されてから2年がたちました。児童や保護者からの関心も高まってきています。教員は、研修や日々の実践を重ね、ICT機器のより効果的な活用の仕方について試行錯誤しているところです。 今後は、タブレットを活用した授業を提案していく予定です。	○新たな取り組みが評価されていると思う。 ○大いに活用してほしいです。 ○電子黒板を活用されて、子供たちにもとてもわかりやすいと感じている。1年生の授業を参観したときにとても感動した。 ○学校公開で授業を参観するが、ICTに限らず子供たちの学習意欲をよく引き出しておられると思う。
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	保護者の学校評価において、「学校は、家庭や地域とのかかわりを深める教育活動（地域人材を活用した学習や保護者ボランティアの参加等）に取り組んでいると思いますか。」の項目で、A（とても思う）B（思う）と回答した保護者の割合	4：90%以上 3：85%以上 2：80%以上 1：80%未満	2	84%の方に肯定的な評価をいただきました。学校支援地域本部（いきいき応援隊）を中心に、1年生の入学期におけるサポート、校外学習の引率、6年生のキャリア教育等、ボランティアの皆様にご協力いただき教育活動の充実に力を注いでいます。これからもより多くの地域人材を発掘すると共に、ゲストティーチャーを活用した学習を計画していきます。	○他校との比較はできないが評価はよいと思う。 ○学校支援地域本部とは何か、ということを知らない人も多くいるように思うので、評価が出しにくいのかと思う。 ○子供たちのためにできることをもっともっと協力させていただきたいと思っている。在校生の保護者とのつながりも深めていきたい。 ○地域の人とも協力し合って取り組む活動は素晴らしいと思う。 ○5項目の中では最低の評価ではあるが、目標に対して設問の内容が絞られているからであり、学校から家庭・地域への情報発信の面などを捕らえると、連携を深める取り組みは十分されていると思われる。 ○池雪小の地域の方が熱心にサポートしていらっしゃいます。学校と地域の両輪で池雪小の子供たちが大きく羽ばたいてほしい。 ○地域の住人として池雪小の子供たちを見守り、何か役に立つことがあればこれからも協力していきたい。学校は、それを受け入れてくれていると思う。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適切ではない　D：評価は不可能で